

自由が丘地区
市政懇談会資料
(意見交換)

日時：令和4年11月26日

場所：自由が丘公民館

市政懇談会出席者一覧

| 役 職 | 氏 名 |
|--------|------------------------|
| 市 長 | なか た かず ひこ 仲 田 一 彦 |
| 副 市 長 | おお にし ひろ し 大 西 浩 志 |
| 副 市 長 | ごう だ ひとし 合 田 仁 |
| 教 育 長 | おお きた ゆ み 大 北 由 美 |
| 総合政策部長 | やま もと よし ふみ 山 本 佳 史 |
| 総務部長 | いし だ ひろし 石 田 寛 |
| 市民生活部長 | やす ふく しょう じ 安 福 昇 治 |
| 健康福祉部長 | いの うえ のり こ 井 上 典 子 |
| 産業振興部長 | あか まつ ひろ あき 赤 松 宏 朗 |
| 都市整備部長 | とも さだ ひさし 友 定 久 |
| 上下水道部長 | にしき のぼる 錦 昇 |
| 議会事務局長 | いし だ ひで ゆき 石 田 英 之 |
| 消 防 長 | はやし かず しげ 林 一 成 |
| 教育総務部長 | もと おか ただ あき 本 岡 忠 明 |
| 教育振興部長 | よこ た こう いち 横 田 浩 一 |

地区からの意見・提言(意見交換)

自由が丘地区

| | 意見・提言の内容 | 回答者 |
|---|------------------------------------------------|----------------------------|
| 1 | 通学路の安全確保と対策 | 市民生活部長 教育総務部長 都市整備部長 |
| 2 | 空き家や未管理私有地について | 市民生活部長 |
| 3 | 健康寿命の延伸、介護老人保健施設の期間制限について | 健康福祉部長 |
| 4 | 緊急搬送された要援護者の帰宅相談窓口の開設 | |
| 5 | ヤングケアラーに関する取り組みについて | |
| 6 | 「ごみステーション、移設時、新設時」の「三木市の万全なる協力」、及びその用地の「市所有化」へ | 市民生活部長 |

市政懇談会 回答

| | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|------------------------|
| 地区名 | 自由が丘地区 | |
| 意見・提言 | 1 | 通学路の安全確保と対策 (市民協議会) |
| <p>(内容)</p> <p>危険性の高い通学路に対する現実的な改善策を提案</p> <p>①西村邸カーブについて、安全性の向上</p> <p>(1) 西村邸向かいの駐車場の一部を歩道へ。</p> <p>(2) 道路の形状上、見通しが悪くスピードが出やすいので下記の対策を施す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な減速が必要なので、車道に側線を加えるなどの視覚的効果によりスピードダウンを期待。 ・路面シートやカラー舗装を施す。 <p>②自由が丘中学校北側道路の安全性向上</p> <p>(1) 道路を広げて歩道を作る。</p> <p>(2) 通行制限の看板、標識が掲示されているにもかかわらず認識しづらいため、多くの車両が通行している現状なのでドライバーが容易に認識できるよう、既存の看板、標識に加えてより認識しやすいよう路面シートやカラー舗装を施す。</p> | | |
| 回 答 | (担当課) 市民生活部 生活環境課 教育総務部 教育施設課 都市整備部 道路河川課 | |
| <p>①西村邸カーブについて、安全性の向上</p> <p>三木市では、各小中学校の通学路において、安全確保に向けた取組を行う「三木市子どもの移動経路安全推進会議」を設置しています。会議では、各学校から挙げられた危険箇所について関係機関（道路管理者・警察・生活環境課・教育委員会・学校等）が集まり、検討したうえで対策を講じることとしております。</p> <p>通学路の安全対策については、教育委員会や道路管理者だけでなく、関係機関が連携し、検討を進めています。</p> <p>ご指摘の箇所については、昨年度、現地立会し、歩道の設置には用地の確保が必要である旨の回答をさせて頂きました。地域のご協力も頂きながら用地確保に努め、目途がたった時点で事業を着</p> | | |

手したいと考えております。

視覚的効果については、ご指摘のように路面標示が有効と考えますので検討いたします。

なお、当該市道と県道志染土山線の交差部分については兵庫県加東土木事務所が道路改良工事を予定しています。付近の安全対策については県とも協議しながら検討を進めてまいります。

② 自由が丘中学校北側道路の安全性向上

当該路線については、昨年度、「三木市子どもの移動経路安全推進会議」で検討をし、検討結果である区画線の塗り直しと道路除草を実施しました。

歩道の設置については、現状、歩行者専用道路（自転車除く）として午前7時30分から8時30分まで通行の時間規制がかかっておりますので、その状況に注視しながら検討してまいります。なお、歩道設置については用地の協力が必須となります。

今後も通学路の安全確保に努めてまいります。

市政懇談会 回答

| | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------------|
| 地区名 | 自由が丘地区 | |
| 意見・提言 | 2 | 空き家・未管理私有地について (自治会連合会) |
| <p>(内容)</p> <p>空き家・未管理私有地所有者への管理依頼事に三木市の関与をいただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 空き家・未管理私有地へ、たとえ防犯・防災の観点からであっても所有者の許可なく管理施行が出来ない。 2. 隣接・近隣住人は不安を抱えて生活しています。災害時倒壊する危険、不法滞在、犯罪の温床化、害虫・害獣問題、樹木越境、美観景観を損ねる等。 3. 当事者と所有者間での解決を基本とするが故、当事者が公民館を經由して市担当課へ相談や所有者連絡先確認のため法務局まで赴き、情報をもとに書面等で陳情を行うもご対応いただけないことが多い。 4. 結果として、やむにやまれず許可なく対応を行ってしまい、トラブルに繋がることも……。可能な方は転居、最悪は三木市を離れることになり、その他多くの方が我慢して生活を続けている。 <p>空き家・未管理私有地の不安にさらされることのない生活を実現したい！</p> <p>現在抱えている問題改善へのご検討項目として</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 所有者への対応依頼事、市による申請証明書の発行について。当事者から所有者への管理依頼を行う際、三木市に証人となっていただく事で未対応・未回答を防ぎたい。 2. 当事者による申請を審査方法について。不正申請防止の為、申請証明発行にあたり審査を実施し不適合な場合は未発行とする。発行後の不正発覚については罰則規定を設ける事で公平性を保つ。 3. 申請証明書付き依頼に対する所有者対応の審査方法について。正当な理由なく証明書付き依頼に対して、未対応・未回答状態が継続された場合、市による聞き取りを実施。適正な依頼・申請に対する未回答・未対応については罰則規定を設けていただきたい。 | | |

4. 申請証明書付き依頼に対する所有者対応不履行時の施行もしくは施行許可の発行について。

適正な依頼に対する不履行については、市による強制施行または当事者への施行許可発行を可能とする。所有者への代行費請求を含め、地域自治体協力体制の構築やシルバー人材の活用なども検討。

今後の問題改善へのご検討項目として

1. 三木市で土地を取得する際に、管理義務を課す条例を制定できないか検討。

未来の三木市に向けた取り組みではあるが、上記条例をもって所有者による管理対応が行われない場合は市判断において通知後、強制施行（作業費所有者請求のもと）を行えることとする等。本件実現により、安心・安全に生活できる三木市として繁栄につながると考え、ここに提言を致します。

回 答

(担当課) 市民生活部 生活環境課

近年、全国的な少子高齢化や地方の過疎化等により、空き家・空地の問題が注目されています。

三木市においても、適正な管理がされていない空き家・空地が、地域住民の生活環境を阻害する事例が多く見られるようになりました。

そこで、市では、空き家対策として、平成 23 年度に「三木市空家等の適正管理に関する条例」を定め、空家等の適正管理を進めています。

さらに、令和元年度には「空き家対策の推進に関する特別措置法」に基づく「三木市空家等対策計画」を定め、「空家の発生抑制と適正な管理」「空家の利活用」「管理不全な空家への対策」「空き家対策の計画的推進」に取り組んでいます。

また、空地対策については、三木市環境保全条例第 60 条に基づき所有者・管理者への指導を行い、その対策を進めているところです。

所有者・管理者の特定が困難など、地域だけでは対応が難しい空き家・空地がございましたら、生活環境課までご相談ください。

・所有者・管理者への管理依頼について

市では、管理不全な空き家・空地に関する相談を受けた場合、法及び条例に基づき、職員による現地確認を行い、必要に応じて所有者・管理者を調査し、指導等を行っています。

また、税務課が送付する固定資産税納税通知書にも、空き家の適正管理を促すチラシを同封するなどして、所有者・管理者の管理意識の向上に努めています。

今後は、相続登記の義務化や、樹木の越境の取扱いなど、空き家・空地に関連する法令等も改正が予定されておりますので、市民及び所有者・管理者には、適宜周知を行ってまいります。

なお、空き家・空地問題を解消していくには、行政のみならず近隣住民の方々相互のコミュニケーションにより、所有者・管理者の連絡先を相互に把握するなどして、空き家・空地の未然防止及び発生抑制を意識していただくことが重要であると考えておりますので、ご理解と御協力をよろしくお願いします。

(参考)

○三木市空家等の適正管理に関する条例 (H24. 3. 30 施行)

(所有者等の責務)

第 6 条 空家等の所有者等は、当該空家等を管理不全な状態にならないように維持管理し、資材等の整理整頓並びに建物その他の工作物、草木及び敷地の適正な管理を行わなければならない。

○三木市環境保全条例 (S50. 10. 2 施行)

第 3 章 生活環境の保全

第 3 節 空地の管理等

(空地の適正管理)

第 60 条 空地(宅地化された状態の土地その他これに類する土地で現に人が使用していないものをいう。以下同じ。)の所有者又は管理者(以下「所有者等」という。)は、当該空地が管理不良の状態(雑草類が繁茂すること等によりごみその他の廃棄物の不法投棄を誘発し、害虫の発生源となり、又は火災若しくは犯罪発生の遠因となる等生活環境に重大な支障がある状態をいう。)にならないように適正に維持管理しなければならない。

(参考)

三木市環境保全条例 (S50.10.2 施行)

第3章 生活環境の保全

第3節 空地の管理等

(空地の適正管理)

第60条 空地(宅地化された状態の土地その他これに類する土地で現に人が使用していないものをいう。以下同じ。)の所有者又は管理者(以下「所有者等」という。)は、当該空地が管理不良の状態(雑草類が繁茂すること等によりごみその他の廃棄物の不法投棄を誘発し、害虫の発生源となり、又は火災若しくは犯罪発生の遠因となる等生活環境に重大な支障がある状態をいう。)にならないように適正に維持管理しなければならない。

○三木市空家等の適正管理に関する条例 (H24.3.30 施行)

(所有者等の責務)

第6条 空家等の所有者等は、当該空家等を管理不全な状態にならないように維持管理し、資材等の整理整頓並びに建物その他の工作物、草木及び敷地の適正な管理を行わなければならない。

市政懇談会 回答

| | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------------------------------|
| 地区名 | 自由が丘地区 | |
| 意見・提言等 | 3 | 健康寿命の延伸、介護老人保健施設の期間制限について（自治会連合会） |
| <p>(内容)</p> <p>介護に携わる方の環境改善と健康寿命延伸による要介護者化の低減を目指したい！</p> <p>1. 介護老人保健施設をはじめ在宅復帰・在宅支援を促進している事から、施設利用に際して症状に合わせた期間設定（90日～180日程度）で帰宅させることが目的になっているのではないかと？</p> <p>2. 介護に関わるご家族が様々な問題を抱えている。（遠方居住、老々介護、ヤングケアラー等） 刻々と状況が変わるとも言えるが、見直しの度に別の施設を探したり、延長するための理由を考えることは要介護者ご本人やご家族にとっても大きな負担となると考える。</p> <p>3. 在宅復帰はゴールではなく、どの様に関わっていくかが問題となる。 見守り、災害時安否確認、救援について、地域・自治会・民生委員等の協力は必須となる。</p> <p>4. 健康寿命延伸を図ることで要介護化を低減、本当に支援を必要する方にサービスが行き届く様にする。</p> <p>市が出来ること、地域が出来ることを相乗効果でより良い三木市にしたい！</p> <p>ご検討いただいたこと</p> <p>1. 要請に応じた情報開示について。 市であれば住民情報（家族構成、年齢等）から簡単に把握できる情報も、自治会や民生委員で行うと多大な労力を必用とする事もしばしばです。地域生活向上（防犯・防災・支援）に向けて開示が必用と判断される情報提供申請については積極的に開示いただけるようにしていただきたい。</p> <p>2. 市による健康寿命延伸策・介護問題改善策の施行について。（金銭的支援を含む） 要介護状態になる前にできる事として、健康寿命延伸策。要介護者</p> | | |

ご本人の思いに沿った在宅復帰後のご家族の負担軽減策。金銭的支援による老々介護、ヤングケアラー、低所得世帯の介護負担の軽減による生活正常化。

3. 介護に関わる人間への支援について。(金銭的支援を含む)
介護職員のスキル向上策を講じ安心して任せられる介護サービスを実現し、介護職員の給与面へ反映する事で人材不足、スキル不足の解消を行う。

4. 廃校利用を含めた介護施設の拡充について。
今後も介護施設の不足が想定されるため、市所有の土地や建物を積極的に介護施設開設に利用する。

介護問題の改善は全て繋がっており、関わる若年層、子育て世帯への負担の低減も見込まれ、安心して過ごせる様にすることが、活力溢れる三木市の長期ビジョンの形成につながると考え、ここに提言いたします。

回 答

(担当課) 健康福祉部 介護保険課

高齢者が住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けられるため、自治会をはじめ地域の皆さまで、見守り活動や支え合いの取り組みを実施いただき有難うございます。また、地域と行政の協働での地域福祉の推進について提言をいただき有難うございます。

独居高齢者などが病院や施設から在宅復帰する場合には、入院中に要介護認定の申請を行い、担当ケアマネジャーを選定の上、在宅生活に必要な介護保険サービスや介護保険外のサービスの調整を行い地域の見守り体制を確認するなど、支援体制を整えてから退院できるよう配慮しています。

1 要請に応じた情報開示について

災害時に要援護者の避難支援を行うため、支援を必要とされる方を把握する目的で、「災害時要援護者調査書(くらしあんしんシート)」を活用し、日頃から見守り、災害時の安否確認や救援について、あらかじめ民生委員児童委員、自主防災組織等と情報共有をお願いしているところです。

なお、「くらしあんしんシート」は、平常時から情報を民生委員児童委員や自主防災組織に提供することに同意していただい

た方が対象となります。また、そこに記載された情報の活用は、見守り活動や災害時の安否確認などに限られており、命にかかわる緊急事態の対応を除き、個人情報保護法により同意のない個人情報については、開示できないことになっております。

地域で日常的に見守り活動をされる中で、心配なことやお困りのことがありましたら、市介護保険課にお気軽にご相談ください。地域に実態等の情報をお伺いしながら、ケアマネジャー等の専門職とともに、対象者が引き続き住み慣れた地域で暮らしている方法等について考えてまいります。

2 市による健康寿命延伸策・介護問題改善策について

要介護状態になることを予防するため、みつきい☆いきいき体操、みつきい☆にこにこ体操、みつきい☆健脚体操やサロン等にお伺いしての健康教育など、介護予防に関する取り組みを行っています。

要介護状態になっても、住み慣れた地域でその人らしい尊厳ある生活を人生の最期まで送るため、また介護者の負担軽減を図るため、介護保険サービスだけでなく、地域における自助、互助、共助といったセーフティネットを生かしたまちづくりを支援して参ります。

在宅介護者への支援として、市では、家族介護者交流会を1回開催し、介護者が悩みや苦勞を話し合い、リフレッシュしたり介護の知識を習得する機会を設けています。また、おむつなどの介護用品の支給や購入支援を行い、介護費用の負担軽減を図っています。介護負担軽減のために短期入所を利用される方に対し、所得に応じて食費や居住費などの減額制度も設けています。

さらに、地域住民が日頃から本人が望む生活や支援について自ら発信できるような取り組み、必要なサービスが必要な方へ届くよう、介護にかかわる専門職の質の向上への取り組みや、住民への福祉に関する情報提供など、啓発活動にも取り組んで参ります。

3 介護に関わる人への支援について

介護人材の育成については、市が介護福祉士の資格取得に対して助成（受検手数料等の合計額の1/2助成、1人1回上限10万

円) を行っています。また、みつきい☆家事ヘルパー養成研修をおこない、介護未経験者等を対象にした介護に関する入門的研修を今年度から実施します。

今年10月には介護報酬の増額改定により、給与面で介護職員の処遇を改善しています。

今後も地域住民への情報の発信を図っていきたいと考えております。

4 介護施設の拡充について

2025年に「団塊の世代」すべてが75歳以上の後期高齢者となり、2040年には「団塊ジュニア世代」が65歳以上の高齢者になることを踏まえて、高齢者が住み慣れた地域でその人らしい尊厳ある生活を全うできるよう、三木市高齢者福祉計画、第8期介護保険事業計画の施設整備に基づき、需要量を見込み、整備を進めて参ります。

市政懇談会 回答

| | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------------------------------|
| 地区名 | 自由が丘地区 | |
| 意見・提言等 | 4 | 緊急搬送された要援護者の帰宅相談窓口の開設（市民協議会） |
| <p>(内容)</p> <p>病院や警察から、民生委員やデイサービスセンターに対し、緊急案件として、一人暮らしの高齢者や障がい者等の引き取りを要請された。このような場合、対象者の引き取り先（帰宅）について、家族が近くにいない場合でも、夜間でも対応できる体制の構築、または相談できる窓口を開設して頂きたい。</p> <p>民生委員やデイサービスセンターに対し、病院や警察から次の様な連絡（要請）が入ることがある（あった）。</p> <p>□ 一人暮らしの高齢者が、病気や負傷等により、病院に救急搬送された。夜になって治療後に病院から、民生委員に対し、患者を迎えに来て欲しい。</p> <p>□ 警察からデイサービスセンターに、認知症の方を保護したので、引き取りに来て欲しい。</p> <p>これらの場合は、民生委員の業務範囲から外れるため、またはデイサービスセンターも契約に係ることになるため、原則として家族や親戚等に連絡して対応して頂くこととなります。</p> <p>しかしながら、家族や親戚が近くにいない場合や、深夜のために連絡が取れない場合などは、状況に応じた対応が必要と考えます。そのためにも、ほっとけない状況への対応ができる体制の構築や、相談や調整ができる窓口の開設を希望します。</p> | | |
| 回 答 | (担当課) 健康福祉部 福祉課 | |
| <p>区長様及び民生委員様には、日ごろから地域の見守り活動にご尽力賜り、ありがとうございます。</p> <p>民生委員は民生委員法等に基づき、厚生労働大臣から委嘱された地域を担うボランティアで、同じ地域で生活する住民の一員として皆様からの様々な困りごとや心配ごとに関する相談に応じ、必要な支援を受けられるよう、地域の専門機関への「つなぎ役」としての役割を担っていただいています。</p> <p>一人暮らしの高齢者や障がいのある方が病気や負傷等により病院に救急搬送され、入院が必要ないと診断され、帰宅することとなっ</p> | | |

た場合、帰宅に際しては、そのご本人が知り合いにお願いされたり、タクシーを手配されるなどしてご自身で病院から帰宅いただくことが基本と考えます。

しかし、病院から民生委員にそのような方のお迎えを要請され、民生委員の厚意でご自身の車で迎えに行かれた事案が今までにあったことは市としても認識しています。

家族や親族が近くにいない、深夜で連絡が取れないなどで、病院等から緊急性が高い電話があった場合は、本市では24時間、必要に応じ関係課に電話の内容を取り次ぎしておりますので、遠慮なく市役所の代表番号への電話をご案内願います。

市政懇談会 回答

| | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|--------------------------------|
| 地区名 | 自由が丘地区 | |
| 意見・提言等 | 5 | ヤングケアラーに関する取り組みについて (市民協議会) |
| (内容) | | |
| <p>① ヤングケアラーの実状を把握することが大事であることから、アンケートの実施と継続的な調査をお願いしたい。</p> <p>② ヤングケアラーが抱える課題解決や支援実施のためには、市の組織（例えば、子育て支援、福祉、介護保険、障害福祉等）を横断的に連携させ、相談窓口を課題ごとに担当部署を決めた取り組みが望まれるが如何お考えか。</p> <p>③ 地域でヤングケアラーを支えるには、地域に住む人々の理解と、支えようとする意識の向上が不可欠と考えます。そのためにも、住民学習や啓発活動を継続して実施願いたい。</p> | | |
| 回 答 | (担当課) 健康福祉部 子育て支援課 健康福祉部 障害福祉課 健康福祉部 介護保険課 | |
| <p>①本市では平成30年度から、毎年度1学期中に市内の小中学校・特別支援学校、認定こども園、保育所、幼稚園、小規模保育施設、事業所内保育施設（全47か所）を訪問して、在籍する児童・生徒について情報交換を行う「児童虐待防止ネットワーク事業」で、支援の必要な児童・家庭の把握に努めております。</p> <p>今年度からは、ヤングケアラーの可能性のある児童・生徒の把握についても確認事項に盛り込み、情報を把握しております。</p> <p>今後もこの事業を継続し、学校や園との連携を深めながら、児童虐待の予防・早期発見・ヤングケアラーを把握するとともに、適切な支援を行ってまいります。</p> <p>また、本年度は、関係機関（124箇所）に「ヤングケアラー支援マニュアル」を配布し、ヤングケアラーの概念、発見のための着眼点などについて理解を深め、連携強化を図っているところです。</p> <p>アンケート調査については、家庭内のデリケートな問題であること、さらには本人や家族に自覚がないといった理由から、支援が必</p> | | |

要であったとしても表面化しにくい構造となっていることから、支援の検討にあたっては、まずはその実態を把握することが重要ですので、効果的な調査内容等を検討します。

②ヤングケアラーに関する主たる相談窓口は、子育て支援課でございます。

また、ヤングケアラーは、ケアの対象となる家族が、高齢者、障がい者、幼少のきょうだい、病気である、保護者が日本語を話せないなど、多種多様であることから、学校をはじめ、各担当部署の相談窓口を通じて、あるいは医療機関や、介護・障がい者等の事業所など、各関係機関からの情報提供で把握しますので、市のいずれの部署に、相談や問い合わせをいただいた場合でも、必要な支援につながるよう、各担当部署をはじめ、関係機関で横断的に連携を行っております。

なお、市のホームページでは、子育て相談電話（子育て支援課）、児童虐待相談（子育て支援課）、障がい者福祉相談（障害福祉課）、介護・認知症などに関する相談（介護保険課）、市民ふくし相談（社会福祉協議会）、兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口（兵庫県）を明記しており、いずれかの相談しやすい窓口にご相談していただくようにご案内しております。

しかしながら、これらの相談窓口があったとしても、認知されていない場合はありませんので、広く認知されるために、今後も周知・啓発に取り組んでまいります。

③ヤングケアラーについての理解を深めるご提言、誠にありがとうございます。

兵庫県人権啓発協会では、多種多様化する人権課題に対して、毎年、人権尊重への理解を深める啓発・学習教材として、各市町・教育委員会をはじめ、地域や職場などにおける人権研修や、学習会で活用できる人権啓発ドラマを制作されており、今年度は「ヤングケアラー」がテーマになっています。

よって、今年度の住民学習では、市内の多くの地区で、ヤングケアラーのDVDを活用した学習を行っていただけるものと考えております。

また、ヤングケアラーに対する市民の皆さまの理解と意識の向上には、当然ながら市が積極的に周知・啓発に取り組むことが大前提であると考えておりますので、「まちづくり出前トーク」のメニューに、「児童虐待の予防・早期発見、ヤングケアラー」についての項目を追加いたしました。

三木市の将来を担う子どもたちの幸せを追い求める取組みに、終わりはありませんので、地域住民の皆さまのご要請があれば、「まちづくり出前トーク」で周知・啓発について、継続して取り組むとともに、情報発信の強化についても努めてまいります。

市政懇談会 回答

| | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------------------------------------------------------|
| 地区名 | 自由が丘地区 | |
| 意見・提言等 | 6 | 「ごみステーション、移設時、新設時」の「三木市の万全なる協力」、及びその用地の「市所有化」へ（市民協議会） |
| <p>(内容)</p> <p>『ごみステーション』問題から永遠の決別を！！</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 三木市の担当者が「課題発生時」から一緒に解決に奔走する。 2. ゴミステーションの今後の在り方を検討されたし・・・運営も含め <ol style="list-style-type: none"> 1) 住民と一緒に「苦勞し」、「汗水流す」三木市担当であって欲しい。 2) 移設、新設等全ての段取りが「自治会任せ」でなく。 3. 「ゴミステーション用地」は三木市の所有（設置）とされたい。ごみステーション問題」から永遠の決別を期待する 4. 三木市と永遠のパートナーである「自治会」。その地区の「トップの区長に、なり手が無いような状況を作らないよう」を市も「知恵」と「汗」をかいて欲しい。 | | |
| 回 答 | (担当課) 市民生活部 環境課 | |
| <p>一般家庭のゴミは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下「廃棄物処理法」という。)で、市がゴミを収集し運搬し処分しなければならないとされています。</p> <p>また、廃棄物処理法では、市民はゴミの適正な処理に関する市の施策に協力しなければならないと規定されています。</p> <p>現在、三木市の家庭ゴミの収集方法は、ステーション方式とし、その設置と管理を各自治会に依頼しています。</p> <p>ごみステーションの設置等につきましては、「三木市ごみステーションの設置及び管理に関する指導要綱」を定め、ごみステーションの設置者は自治会等で、その設置場所は、自治会で協議の上決定された場所を市へ届出いただき、承認しています。また、ステーションの設置や管理費用については、各自治会でご負担いただいています。</p> <p>市としましては、ごみステーションの設置について、区長様からご相談していただければ区長様に寄添い、問題解決に向けて取り</p> | | |

組みたいと考えています。

<メ モ>

A series of horizontal dotted lines for writing.